

# 秋のおさんぽ

対象児：3歳児ゆり組  
作成者：青木七海  
作成日：2025.10.17

くろいムシもおったよ！

○ねらい：落ち葉や虫など、見たり、触れたり、集めたりして、秋の自然に親しむ。



○保育の振り返り

あ！ねこじゃらしあった！

わあ～～！！

こんなにとれたよ！

10月の入り、少し涼しくなってきました。心地よい秋晴れの中、初めての園外保育で近所の神社へ散歩に行きました。いつもより口数が減り、少し緊張した面持ちの子ども達でしたが、保育者の話をよく聞いて横断歩道を渡り、友達と手を繋いで歩道を歩き、無事に神社へ到着しました。まずは、ぐるりと一周し、草花の観察をしたり落ち葉を踏みしめたりしました。「わあ！葉っぱがいっぱい！」とだんだん嬉しそうに話す子ども達。保育者が、「どんなにおいがするかな？」「どんな音がするかな？」と声を掛けると、「なんか土のにおいがする」「サクサクって音がする」と思い思いに教えてくれました。少し控え気味だったので、保育者が「みて！」と落ち葉の上で跳んで見せると、子ども達も真似をして飛び跳ね、いつもの調子が戻ってきました。虫の声も聞こえてきたので、「ちょっと…！し～…」と手を耳に当てると、さっきまで飛び跳ねてた子も真剣なまなざしで耳を澄ませ、「…あ！なんか、チリリって音がする…」「ほんまや…！」と静かな声で笑い合っていました。手作りのポシェットに、気に入った落ち葉や小枝を集め、最後には「こんなに拾えたよ！」と次々に見せてくれました。クラスに戻ってから、どこへ行って何を見たのか、聞いたのか、どんなものがあって拾い集めたのかをみんなで話し合い、秋の自然に触れて遊んだ楽しかったことを共有することができました。

いつの間にかセミの声が聞こえなくなったこと、衣替えで身に付けるものが変わってきたこと、靴のサイズが大きくなってきたこと…。季節の移ろいと共に成長してきているんだということを、子ども達と共有しながら日々過ごしています。季節を上手く利用して五感を刺激する活動を計画したり、何気ない子どもの発見に気づいて寄り添った言葉かけをしたりすることで、子ども達の豊かな感性や興味、関心、意欲に繋がっていくのではないかと思います。集めた落ち葉や小枝を製作や遊びに活用できると素敵だと思うので、子ども達と共に考えていきたいです。（健康な心と体、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現）